

日本倶楽部会報の発行にあたって 石原会長インタビュー



石原信雄会長

会報発行にあたり、5月15日に広報委員会の椎川委員が石原会長にインタビュー致しました。

(椎川委員) 日本倶楽部の活性化に於ける一番の話題であります、倶楽部会報発行に至る経緯についてお聞かせ下さい。

(石原会長) この度、日本倶楽部の会報を発行することになりました。会報につきましては、これまで、定期的に会報を発行して欲しいと、そして会報を通じて会の活動状況や会員の相互の情報などを知りたいとのご要望がありました。それに応えまして、今回、会報を発行する事としました。なお、会報につきましては、当面、年4回程度の発行を考えております。

(椎川委員) 日本倶楽部活性化について多くの議論がされてきましたが、会長が課題と考えておられる方向性をお伺いしたいのですが。

(石原会長) 今回、歴史と伝統ある日本倶楽部につきまして、今の時代に相応しい形で、更なる活性化を図ってはどうかという会員の皆様からのご提案があり、宮本副会長を中心に会員の有志の皆様にお集まり頂きまして、約半年近くかけて当倶楽部の活性化について貴重なご意見を頂きました。このご意見を踏まえて、各それぞれの分野での活動の改善、改革を図ることに致しております。

これにつきましては、今後、逐次、実行に移して行きたいと思っておりますので、会員の皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

(椎川委員) 会長がお考えになっている大きな柱を2、3具体的にお聞かせいただけましたら有難く存じますが。

(石原会長) 当倶楽部の活動は、広範、多岐に亘っておりますが、何と言いましても、その中心的な役割を果たしているのが、講演会ではないかと思っております。

倶楽部の会員の皆様の多くは各界の指導的な立場におられた方々でありますだけに、この国の動きがどうなっているのか、それぞれに関心をお持ちの方が多いわけでありまして、そこで講演会を担当する会員の皆さんの大変なご努力によりまして、現在、いろいろな分野で活躍しておられます講師をお願いして、定期的に講

演会を開催しております。この講演会の内容は正に、時宜に即したものが多くて、会員の皆様方が常に時代の流れを汲み取って、それぞれに活かして頂けるような状況になっていると思います。この点についてはこれからも益々その内容の充実に努めさせて頂きたいと思っております。

その他、各分野での趣味などを中心とする活動が盛んであります。この第二の人生になってから趣味を如何に生かして行くかと言うことが我々にとって重要なテーマでございますので、その意味でもこの当倶楽部での活動は会員の皆様の期待に応えうるものが多いと思っておりますので、この点につきましてもご協力頂くとともに、積極的にご活用頂ければ有難いと思っております。

(椎川委員) 仰せの通り、講演会については新聞情報ではなかなか得られないような貴重なお話を頂いております。

私も毎回講演会に参加させて頂いておりますが、例えば、与党の幹事長さん、元総理の方でありますとか、或いは、今の経済政策を考えておられる経済学で中心となってご活躍の先生方などに来て頂いて、なかなか日本倶楽部以外では聞けないような講演が多いと感じています。趣味の分野も多岐にわたっており、私も趣味に合わせて交流が深められると良いと思っております。そこで、ちょっと話題を変えまして、会長ご自身の倶楽部の入会のきっかけや倶楽部の楽しい思い出などのお話を頂ければ有難いと存じます。

(石原会長) 私自身が日本倶楽部に入会した動機は、日本倶楽部の理事を務めていた私の役所の先輩であります、荻田理事、或いは、鈴木元会長、奥野元会長、その他、歴代の会長さんの方々が先輩として、また、人間として大変尊敬申し上げる方々が多くおられました。私も旧自治省を卒業後、是非、倶楽部に加えさせて頂きたいと願っておりましたが、途中、内閣の方へ務めることになりましたので、残念ながら、この間、暫くブランクができてしまいました。

その後、官邸務めを終了後、当倶楽部へ入会させて頂きました。入会して多くの皆さんと接する機会が出来、また、先程も申し上げましたように講演会活動その他の面で、大変得る事が大きいと感じております。

現在は計らずも会長という大役を仰せつかったわけですが、私も当倶楽部の歴史と伝統に恥じない立派な倶楽部となりますように、会員の皆様方の御協力を得ながら全力を尽くして参りたいと考えております。何卒、宜しくお願い致します。

(椎川委員) 本日はご多忙の中、多岐に亘りお話を聞かせ頂き有難うございました。